

「地域における公益的な取組」

1 施設名

沼木敬寿園

2 取組の名称

災害に備えた取り組み事業

3 取組内容について

- ① 実施に至る経緯
 - ・地域における災害時の共助の考えより、沼木中町内会との密接な関係を持ちお互いを支え合う事を目的とする。
 - ・地域における施設の役割として山形市福祉避難所としての登録、災害時施設間相互応援協定への参加。
- ② 具体的な内容
 - ・沼木中町内会との「災害時における助け合いに関する覚書」を締結し、大規模災害が発生した場合、共助の精神に基づき、より安全で迅速に対応できるよう定めている。
 - ・今年はコロナ下で地域との協働は困難であったが、例年施設主催の防災訓練へ町内会の役員や民生児童委員、福祉協力員にも参加を頂いている。
 - ・コロナ下により沼木七町内会合同で開催する防災訓練は中止。福祉避難所として単身高齢者世帯と定員を定め、地域への開放。
 - ・地域に向けAEDの設置施設としての周知。
- ③ 参加対象者及び参加費用
 - ・施設の防災訓練には地域役員の参加（今年度はコロナ下のため不参加）
 - ・地域の防災訓練には、施設より数名の職員の参加（今年度はコロナ下のため中止）
- ④ 予算や人員体制など
 - ・防災委員会を設置 11 名体制
- ⑤ 取組による変化や効果
 - ・地域関係者との交流が深まり、運営推進会議等でも意見交換を行っている。
- ⑥ 今後の展望
 - ・地域に根差した施設を目指し、有事の際には互いに協力できる体制を築いていく。

